

# CREATE HOPE in the WORLD



第2780地区  
大磯ロータリークラブ



世界に希望を生み出そう

2023～2024年度RI会長  
ゴードン R. マッキナリー

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281  
会長 瀬戸 亨一 会長エレクト 田中 敏治 幹事 新宅 文雄

第2575回 例会

令和5年9月14日 No.6

■司会：鈴木 美乃

■点鐘：瀬戸 亨一

■合唱：そ君が代・奉仕の理想

◇プログラム・9月21日：休会・9月28日：通常例会・まきば視察・10月5日：理事会・ゲストスピーカー

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2575回	15(14)	11	78.57%	—	—
2573回	15(14)	10	71.43%	—	—

◇欠席者（3名）

原、太田、石山さん

◇メイクアップ（0名）

◇ゲスト：

和田 幸江様：大磯町立国府中学校包括教諭

辻丸 聖順様：大磯町教育委員会教育部

リンキウィッチ・ダヴィッド君：

青少年交換留学生

◇点鐘：瀬戸亨一会長

本日はゲストの方が多くて、楽しい例会になると思っています。和田さん、辻村さんようこそいらっしゃいました。

我がクラブの待ちに待った青少年交換留学生のダビッドさん今日はようこそ。お待ちしております（拍手）。成田に迎えに行った時は初対面で挨拶してもらって、日本語がとても上手で今日初めて会う会員さんが一杯いるので、また沢山お話しして帰ってもらえればなと思っています。

天気も今日かなりまた気温が上がってきましたけど、朝晩は涼しくなってきたのかなという感じがします。子供の頃からロングビーチには、もう毎年必ずお世話になって遊びに来てたプールにですね、今週の日曜日、最後の日だっていうので、布川さんを探して、最後の最後、お会いできて。飛び込み台で

あんなパフォーマンスをするんですね！最後ね、6人ぐらいですか？、選ばれた方たちが全員一度に飛び込んで…、そんなの最後にしてくれました。ロングビーチ終わったという事ですが、何んかまだ今年暑いから続けてもいいんじゃないかなというような感じがしますけど。夏のシーズンお疲れ様でした。それは例会を始めさせて貰います。点鐘します。

◇鈴木美乃SAA

本日のロータリーソングは「君が代」と「奉仕の理想」です。



◇出席報告  
◇会長報告

布川史明委員  
瀬戸亨一会長



私事ですけれども、辻丸さんにも和田さんにも関係するお話ですが、うちの会社に、今週月曜日に国府中学校二年生が職業体験を 10月3日に来られるという事で、面接ではありませんけど、事前打ち合わせで一人で来ました。建築の方を学びたいという学生でした。とてもしっかりしていてですね、中学生ですから可愛げもあってという感じで、さほど緊張もしていなかったの、色々話聞いてると、まあ立派な建築家になるのかなって思わせるような子でした。来たら、有形文化財の大磯町の迎賓館と大磯教会＝私も個人で携わらせてもらってますので＝まあ図面を書く事だとか、ちょっと教えてあげられたら良いかなと思ってます。大変素晴らしい学生でした。

和田さん、辻村さん、今日はようこそおいで下さいました。アメリカと大磯の学校教育の違いを今日は説明して頂くわけですけれども、できればその中にアーカンソー州リトルロックの現地の話題だとか、行ってる間に起きた事件だとか？(^o^)、ちょっと楽しい話も盛り込んで頂けたらなと思っております。よろしくお祈りします。

そしてダビッドさん。お待ちしております。長い間ずっと大磯で皆さんで待ってたので、今年一年、最後まで楽しくやりましょう。日本語が聞きづらいとか分かりにくいなと思ったら、すぐ和田先生のところに行って合図して英語で話してもらって下さい。それから、大磯高校でこの間、文化祭ありましたね。うちの娘もちょっと行かして貰って、もぐら叩きがあったんです。もぐら叩きって、ビーチボールのどっかいハンマーみたいなものを、よくお祭りとかで売ってたりしますよね。あの大きいハンマーで叩くらしいんですけど、そのゲームをやったんだけど、

モグラがダヴィッド君じゃなかったから、つまんないってました。できればモグラにいて欲しかったみたいなこと言ってました(^o^)

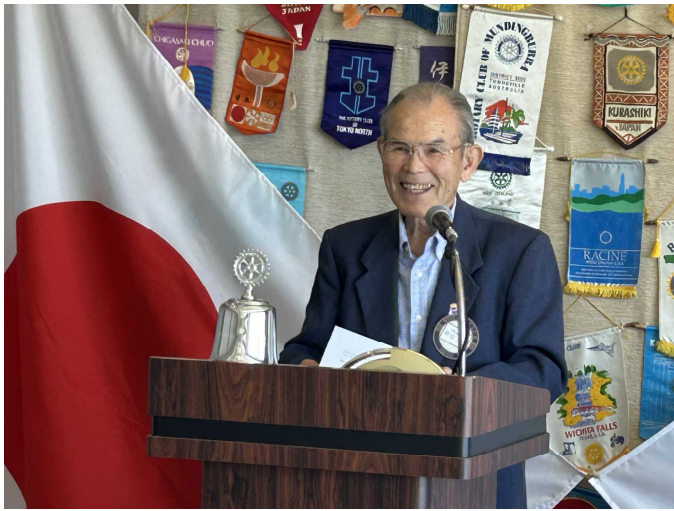
学校の方はもう慣れてきたんですかね？さっき疲れるって言ってたけど。また後でちょっと一言頂けたらと思っています。

それから皆さんにも、ちょっとお伝えしたいなと思ってるのが、今週の日曜日に、**来年度の留学生の候補である廣川康希君**ですね、ダヴィッド君と面談して、一緒に会話させてもらおうかと思っています。廣川君も楽しみにしていたので、留学に対してもお話を聞きたいなという事です。ダヴィッド君も楽しみにしてくれてると思いますけど。廣川君というのは国府中学校の生徒会長を前年度やった子なんで、来年度大磯クラブで推薦します。今年の大磯祭りの11月11日の面接を受けて、合格してくれる予定でいます。英語は不得意と言っていますので、先生、ぜひ教えてあげていただけたらと思っています。

大磯祭ですけど、あのステージに。また、**国府中学校と大磯中学校の吹奏楽**の学生さんが出ますので、それをご承諾いただいていますので、またぜひ鑑賞に来ていただけたらと思っています。

ダビッド君を是非大磯町役場に連れてって町長にもお会いしたいなと思っています。今日は残念ながら教育長がご用事で来られなかったので、よろしくお伝えください。それから10月29日に「ぷちおおいそ」にダヴィッド君はボランティアで出席していただくことになってます。今ホストファミリーの丸山さん、今、国府小学校のPTA会長されてますけど、その方に依頼して、ボランティアで出席してもらおうということに。クラブの方達もぜひ来てくださという事でご承諾も得られています。会場はこのプリンスホテルですから是非見に来てあげてほしいと思います。これも職業体験のイベントになっておりますので。

それから、たまたまその同日にですね、横溝祭りっていうのが横溝千鶴子記念障害福祉センターところで行われまして、二宮の大岩会長が大磯さんと一緒にやりたいということで、お声がかかっています。詳細はまた理事会の方で出ないか検討しますけど。そちらのほうもぜひ皆さん聴いていただけたらと思っています。会長挨拶は以上になります。



### ひと言コーナー：

大相撲秋場所が始まりました。大相撲史上、未だ破られていない**双葉山の69連勝**が

あります。70戦目に敗れ、彼は友達に次ぎのような電報を打っています。

「我いまだ木鶏たりえず」

中国の周の国に闘鶏の好きな王がいました。その為に軍鶏を養って調教訓練しておりました。

10日ほどして、王が「もう良いか」と聞き、「いや、まだいけません、空威張りして俺がというところがあります」

10日経って、また聞きました。「未だだめです。相手の姿を見たり声を聞いたりすると興奮するところがあります。」

10日経って聞きました。「未だいけません。相手を見ると睨みつけて、圧倒しようとするところがあります。」

10日経ってまた聞きました。初めて「まあ、どうかによろしいでしょう。他の鶏の声がしても少しも平生と変わるところがありません。その姿はまるで木彫りの鶏のようです。全く徳が充実しました。もうどんな鶏を連れてきても、これに応戦するものがなく、姿を見ただけで逃げてしまうでしょう」と言いました。

双葉山は木鶏の如く、自然体で臨み、相手が一人相撲して負けてしまい、その結果、勝つことになる。そこまで、実力・境地・徳を積み重ねる、努力をしてきたのでしょう。完璧を求める、プロ中のプロの姿勢を観た思いです。考えさせられます。

### ＜幹事報告＞

#### ＃、地区からの報告

- ・2023年9月のロータリーレート：146円。
- ・9月は基本的教育と識字率向上月間です。 月間

のリソースのご案内が来ております。

教育の支援：読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に約7億7500万人。しかも、学校に通っていない子供は世界に6700万人いると言われております。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、私たちの目標です。

・**第52回ロータリー研究会**が11月19日～22日まで、神戸ポートピアホテルで開催されます。大磯RCでは、パストガバナー、クラブ会長、次年度会長は対象者です。

・**第2780地区社会・国際奉仕委員長研修会**が11月11日（14：00～16：30）アイクロス湘南で行われます。鈴木奉仕活動委員長及び社会・国際両委員長は10月10日までに連絡して下さい。テーマは「異文化と和で希望に満ちた社会を創ろう」

・**第8回日台ロータリー親善会議**：10月20日開催  
締切9月20日

・**ポリオデーチケット購入の件**です。ガバナー事務所からも、林AGからもお願いが来ております。ポリオ根絶イベントが10月25日に開催されます。夢の音楽祭チャリティーコンサートとして、実施されます。チケット購入の代金の一部をポリオ募金とさせていただきます。締切は9月30日 1枚2000円です。

・**ポリオデー向けポロシャツ販売**の案内がきました。当日は皆様お揃いのポロシャツで世界ポリオデーを盛り上げて下さい。赤色、黒色があり、サイズも4種、5000円：9月30日締め切り。

・**本日の配布物**：会報2574回

＃、次回の9月28日は一般社団法人「私塾まきば」に視察に参ります。通常例会終了後に私塾まきばへ参ります。現地に2時予定。

「私塾まきば」の運動会が9月23日（土）（祝）（9：30～13：30）が大磯小学校の体育館で行われます。時間がありましたら見学に行ってみて下さい。

### ◇委員会報告：

#### ☆スマイルボックス

#### 布川史明委員

・**瀬戸亨一会長**：和田様、辻丸様ようこそいらっしゃいました。、本日は卓話よろしくお願い致します。ダヴィッドさんようこそ、日本にはなれましたか？1年間宜しくお祈りします。

・**新宅文雄幹事**：国府中学校総括教諭和田幸江様本日は卓話よろしくお願い致します。辻丸様ようこそ。ダヴィッド君ようこそ、大磯になれましたか。

・**河本親秀さん**：和田幸江先生ようこそ、卓話楽しみにしております。辻丸様ようこそ。ダヴィッド君

お目にかかるのを楽しみにしていました。

・田中敏治さん：こんにちは。和田様、辻丸様ようこそ。和田様卓話大変にたのしみです。宜しくお願いします。ダヴィッドさんが初めて例会出席です。1年間クラブで支えたいと思います。宜しくお願い致します。

・鈴木美乃さん：和田様、辻丸様、ダヴィッドさんようこそおいで下さいました。和田様卓話よろしくお願いたします。ダヴィッドさんたのしんでいらして下さい。

・布川史明さん：和田様、辻丸様、ようこそお越しくださいました。和田様、卓話よろしくお願いたします。ダヴィッド君ようこそ日本へ。たくさん学び、たくさん遊び、実りあるものにして下さいね。

### ☆ダヴィッド君自己紹介：



リンキウィッチ・ダヴィッドと申します。先月日本に来て、一年間、大磯高校に通うことになりました。大磯高校とロータリー、学校に留学する機会を与えてくれて、本当にありがとうございます。これから一年間よろしくお願いたします。

### ◇鈴木美乃SAA：

それでは時間になりましたので、卓話に移らせていただきます。本日はゲストスピーカーとして大磯町立国府中学校総括教諭でいらっしゃいます、和田幸江様から卓話を頂戴いたしたいと思ひます。よろしくお願いたします。

## ◇卓話

### ◇◆2023年アメリカ研修◆◇

大磯町立国府中学校  
総括教諭 和田 幸江 様



ご挨拶させていただきます。国府中学校総括教諭 和田幸江と申します。本日はこのような席を用意していただいたこと、改めてお礼申し上げます。大変貴重な機会をいただきまして、ありがとうございます。10日間、アメリカに行かせていただきまして、どのようなことを学び取ってきたのか、皆様にご報告申し上げたいと思ひます。

アーカンソー州のリトルロックという町で、チャータースクールを運営しているフレンドシップ財団の学校に視察に行っていました。このリトルロックのアスパイア・アカデミーっていうのが全部でキャンパスが8校くらいありまして、そこを平日だと5日間だけだったんですけれども、8校、5日の日程で回って来ました。マーベルエレン高校・小学校っていうのがあるんですが、この学校は公立の小学校と高校です。アメリカの教育制度っていうのが随分日本と異なっているんですけれども、公立小学校でも、例えばその教育効果が発揮できていない学校であると閉めてしまうということがあるんですね。そのまさに閉められようとしているところで、このフレンドシップの財団が先生方のケアとかサポートとか子供達のサポートとか手助けしますということで、協定を結んで支援に入ったところだったんですね。8月から入ったと言っていたので、私が行った時にはまだ本当に入ったばかりで、一ヶ月もたっていない状態だったんですけれども、そこも視察させていただいてきました。

今回の目的なんですが、アメリカの党派を超えて支持されているチャータースクール。チャータース

クールというのは公立民営の学校のことです。日本だとちょっとイメージしにくいんですね。私立か公立かになってしまいうので。ただ、アメリカだとそういう法的な資金が入っている民営の学校というのが存在します。学校の運営、児童生徒指導、教育課程、地域との関わり方を知って参考になる点について、大磯町のこれからの教育に還元して行きたいと考えています。

視察をしてまいりました映像がありますので、5分ぐらいご覧いただけたらと思います。

(映像が5分くらい流されました)



## 目的

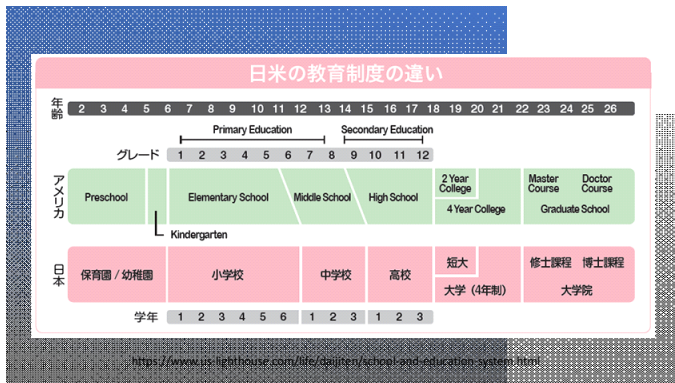
超党派に支持されている

アメリカのチャータースクールでの

学校運営、児童生徒指導、教育課程、地域との関わり等を知る。

そして、参考になる点について

大磯町のこれからの教育に還元する。



## チャータースクールとは

従来の公立学校では改善が期待できない。

低学力をはじめとする様々な子どもの教育問題に取り組むため。

親や教員、地域団体などが、

州や学区の認可(チャーター)を受けて設ける初等中等学校で、公費によって運営。



Friendship Aspire Academy  
Public Charter School

文部科学省「アメリカ合衆国のチャータースクールについて」  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shing/chukyo/chukyo3/gijiroku/020802j.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shing/chukyo/chukyo3/gijiroku/020802j.htm)

## チャータースクールは

?設置者の多様性..... 教員、親、地域団体など。公立学校・私立学校からの転換も可。

?独自の教育方針・方法.....

多くの法令・規則の適用が免除され、一般の公立学校と異なる方針・方法による教育の提供も可。州によっては、教員免許を持たない者もフルタイムの教員として教壇に立つことを容認。

?公費による運営・無償制..... 公費によって運営、授業料の徴収なし。

?契約制・チャーターの取消..... 州、学区と設置者の間で児童生徒の学力等の改善に関する契約を締結。成果が挙がっていないと判断されれば翌年取り消し。

?学校選択制..... 通学区域を超えて児童生徒を集める。

?無選抜制..... 一般の公立学校と同様、原則としてすべての希望者を受け入れる。

文部科学省「アメリカ合衆国のチャータースクールについて」  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shing/chukyo/chukyo3/gijiroku/020802j.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shing/chukyo/chukyo3/gijiroku/020802j.htm)

## 設立の背景

?地域(学区)間格差の問題.....人種や所得階層の住み分けによる教育条件の地域(学区)間格差。

?学力の低下.....基礎学力の低下。

?学校の荒廃.....薬物、暴力、ドロップアウトなど。

文部科学省「アメリカ合衆国のチャータースクールについて」  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shing/chukyo/chukyo3/gijiroku/020802j.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shing/chukyo/chukyo3/gijiroku/020802j.htm)



Friendship Aspire Academy  
Public Charter School

### バインブラフ

Friendship Aspire Academy PCS - バイン ブラフ小学校、中学校  
生徒数 500名 Prek-5  
フレンドシップ LEA 学校 (2018年に開校)。

### リトルロック

Friendship Aspire Academy PCS - リトルロック小学校、中学校  
生徒数 500名 Prek-5  
フレンドシップ LEA 学校 (2019年に開校)。

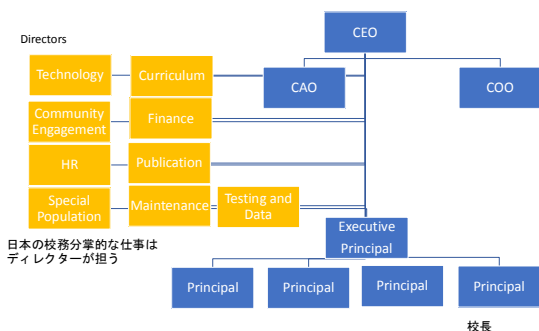
### Friendship Aspire Academy PCS - 中学校

4~8年生 600名の生徒  
計画は立て直しとして始まり、フレンドシップスクールに転換されました。

スライド2~7: 日本とアメリカの学年制度の相違  
= 日本は幼稚園・保育園/6/3/3/4制。アメリカはKindergarden/5/3/4/4制。

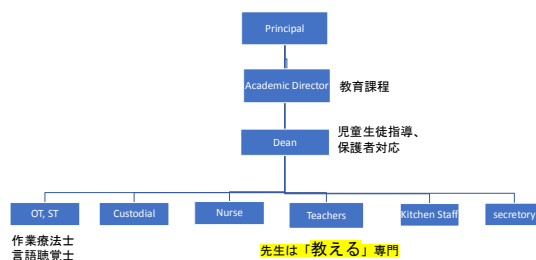
私が通って見させていただいたところは、大体どこも小学校と中学校が同じ敷地の中に同じ建物に入っているか同じ敷地の中に小学校中学校が並んで建っているか、厳密に分けているところはなかったですね。先生たちも流動的に行ったり来たりされるそうです。チャータースクールっていうものは何かというのですね、従来の公立小学校で改善が期待できない低学力をはじめとするさまざまな子どもの教育問題に取り組むために、親、教員、町、あと地域の団体等が認可を受けて、初等中等教育を公募によって公費によって運営している学校です。今回は、これがフレンドシップアカデミーという財団で運営されている学校だったんですね。もう少しちょっと細かく見て行くと、これは文部科学省から説明が出ているものなんですけれども、設置者はいろいろです。独自の方針で運営されています。州によっては教員免許を持たない先生も教壇に立つことができます。

公費によって運営されていて、授業料は取りません、法律なので。契約制なのでももちろん、その運営うまくいっていない教育の質が良くないということがあれば、すぐにでも取り消しされてしまいます。話に聞いているところによると、2割ぐらいのチャータースクールが取り消しになったりすることがあるというふうに聞いています。子どもたちは自由によ場所によって住む場所によって学校決まるわけではなくて選べます。100%の公立の学校は住んでる地域によって変わってしまうんですけども、チャータースクールはどこに住んでいても選べます。しかも入学試験みたいなものはないので、すべて受け入れるのが前提になっています。設立の背景は、アメリカの社会における人種や所得階層の棲み分け。住んでいる場所によって教育の格差が生まれてしまうところを是正するために入りました。やっぱり背景にはそういった薬物とか暴力、ドロップアウトしてしまうなどで、なかなか支援が入らない地域にも、いい教育行き届かせたいという思いがあって、チャータースクールが設立されました。私が見た限りでは、このチャータースクール・フレンドシップによって運営されている学校はどこも素晴らしい学校です。授業もとても面白い授業がたくさんありました。



### スライド8：チャータースクールの組織

先ず財団の一番トップのCEOがいます。でCEOの下にCOOとCA0と呼ばれるトップの運営人に紐づく形でディレクター各領域=9領域=の部長がいて、各校務・役割を分担します。=情報、カリキュラム、人事、地域コミュニケーション、人間関係、財務、児童のテストデータ管理等=



スライド9：CEOの下にエグゼクティブプリンシパルという校長先生の中にも長がいて、その下に各校の校長先生がいらっしゃるという構造になっています。校長先生以下の各学校は、先生は教える事に専念し、それを支える専門職が5人=アカデミックディレクター、作業療法士・言語療法士、看護師、キッチン、事務、保護者対応・児童保護、等=

先生は教える以外の事を色々やるのではなくて、もう子供に教えることに集中できる環境が整っています。組織としてそういうふうにあるのが、多分日本とは随分違うなっていうのを感じました。特に児童生徒の指導についてディーンの先生にインタビューをする機会をいただいて話聞いてきたんです。

「いじめ」の対応はどうしていますかという質問をしたら、予めガイドラインが決まっています、各家庭にこういう事をした時にはこういう対応しますっていうのを配ってあるそうで、説明してあるんです。何か学校の中で「いじめ」のようなことがあった時に、そのガイドに沿って進めていくという話でした。その中身なんですけれども、こういったハンドブックが配られているようです。レベルが3つあって、その高校のケース1、2、3でこんなことをしたら、こういう対応になりますっていうのが出ています。例えば、警報器ですね。学校の中の警報器間違えて押しちゃったとかって言うと、どんな対応になるのかということ、すごくびっくりしたんですけども、退学の可能性があるぐらいのすごい悪いことなんです。おーと思いました。「いじめ」とかも、どんなことになるかということ、ケース2というのは。6日以上10日以内の停学を学校の方で判断して加害者の方にする事ができる。この辺りも日本とは少し制度が違うのかなあ、それと文化的な対応が違うのかなあと思いました。それぞれのケースについて、こういうふうな手続きで進めていきますっていうページもありまして、例えば障害があるお子さんではこの限りではないとか、あとはこういう風な手続きで、その処分について異議申し立てできる

っていうのも、かなり機械的に決まっている感じです。私が授業の全体を見て、すごく心に残ったのは、学校の先生方、校長先生たちそれぞれとお話させていただいたんですが、その中でよく先生方が言っていたのが、フレンドシップウェイといって、フレンドシップ財団の学校でみんな取り組んでいる大きな目標だということなんです。それが子供たちの真の平等を作るんだってということを言っていました。それは何かというと、違いを大事にすることが本当の平等を生み出すんだってということを言っていました。とにかく大人から与えるのではなくて、子供に選ばせる教育を作っていく。で子供が自分自身でまず考えられるようにするのがとても大切だと考えているっていうことをおっしゃっていて、本当になんかすごく大事なことだなんて言うことと、ちょうど日本でも令和の日本型学校教育っていうのが文部科学省から示されているんですけども。これからの学校はこれを目指して学校の教育を作っていきましょうという今動きがあります。ちょうど先ほど、校長先生が言っておられたことと、令和の日本型学校教育が目指していることってかなり重なるなあっていうふうに感じていまして、その具体のやり方っていうのが、それぞれ一人ずつの子供の個性とか、思いを汲み取って、違いを大事にする教育。今この令和の日本型教育のICTをそこにうまく活用していこうということなんですけれども、私たち教員も十分にそのICTを使った学校教育の授業の作り方っていうのも学んでいかなければいけないなあっていうのを強く思いました。先生方と話していて、面白いなあと思ったのは、アメリカの教育は声の尊重というのすごく充実してるんですね。ただ、全体をまとめていくとか、集団で集団を見て行くとかってということがあまり得意ではなくて、日本の先生達ってすごい子供にルールを教えるの上手ですよ。どうやってやってるんですかって、すごく言われたんですけども、それは文化的にですね。子供たちが先生の話聞くみたいなのが、ベースとしてあるっていうのも大きいなと思うんですけども、たしかに日本は先生の言うこと、学校のルールを守ろうみたいな気持ちは子供たちに強いのかなと思います。逆にですね、日本はそれが得意なんですけれども、まあ個々のニーズを汲み取ろうというところは、ちょっと弱いかなと思うので、ちょうど何かないものをお互いに補い合うみたいな関係にあって、お互いのことを学び合うのはすごくいいねっていう話をしてきました。

## 日米の学校環境の違い

カリキュラムの違い（日本の学習指導要領の内容の多さ）

人的配置の違い（米教員は「教える」ことにフォーカス）

専門家との連携（米はカウンセラー、OT、STが常駐）

児童生徒数の違い（大磯は倍の子どもが1クラスにいます）

文化的な価値観の差異（個人のアメリカ、集団の日本）

### スライド17：日米の学校環境の違い5項目

日米の教育環境文化の違いっていうのはどんなのがあるのかなって全体的に行動して考えた時に、私の方で思いついたのがこの五つだったんですけども、まずカリキュラムが違います。日本の学習指導要領は国が決めてるんですけども。アメリカは国が決めていませんので、各州が決めてるんですね。フレンドシップの方でも、アーカンソーの決めているコアカリキュラムを参考にして、独自のカリキュラムを作ってるそうです。人種的な配置の違いというのは、先ほどの組織図でお示した通り、先生が学校の中での教えること以外の仕事を殆どしなくて済む様に組織になっているってところが違うなと思いました。あと3つ目は、やっぱり専門家との連携っていうのはアメリカでは進んでいて、大磯町だと子育て支援センターに、このOTと言われている作業療法士の先生いらっしゃいます。またSTという言葉の言語聴覚士の先生は通う形で一人いらっしゃいますけれども、なかなか毎週のように指導に各校で当たるような体制になっていないので、そこが違うなと思いました。あと児童生徒数が違うんです。大体24人ぐらいまででした。大磯はほとんど倍近い数があります。あとはやっぱり文化的に個人を見るアメリカと、集団を見る日本という違いがあるなというのを感じています。

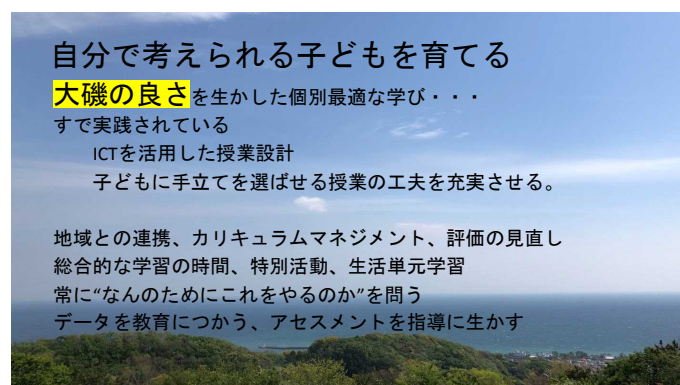


### スライド18-19：大磯の優れているところ

行ってきた中で、日本の良さ、大磯すごいなって思うこといっぱいあったんですね。まず大磯の学校は設備がすごく充実していると思います。例えば、

理科室と家庭科室、音楽室、あと体育の設備などもしっかり揃っておりますし、あとは職員室がアメリカの学校にはないんですけれども、日本は職員室で先生と一緒に仕事しますので、その場でのコミュニケーションが生まれやすいとか、先生たちには高い技術がもちろんあります。アメリカはICTが進んでいるというイメージで行ったんですけれども、行ってみたら日本のICT、地域の格差が結構あると思いますが大磯のICTの環境は決してアメリカに遅れていないと思いました。家庭の協力っていうのも得られやすいのかなと思います。あと地域柄ですね、大磯は文化財とか、人的資源というのを豊かに持っている地域柄だと思います。あと子供達の高い基礎学力もありますし、学校の中での特別活動、後は先ほど言った規律とか規範意識というのがベースとしてあるというのがありまして、大磯のこういった良さを活かして私たち自信を持って学校教育に当たっていききたいなというのを改めて思いました。大磯の良さを生かした個別最適な学びっていうのは、もうすでに大磯で実践されていますが、ICTをもっと活用した事業設計をしたり、子供に選ばせる授業の工夫というのを人数が多いんですけど、何か工夫してやることがあるのではないかなっていうのを感じています。

全体の、この視察を得ての提案というか、思ったことは、やっぱりチャータースクールというのは先生が教える事に専念できる環境があって、実際に子供たちの学力の向上等に実績をあげています。日本の先生たちにもポテンシャルがあって、ただ忙しいと言うのが実際ありまして、発揮できない面もあるのかなというのを感じました。先生たちが専念できる環境づくりを私たちのうちでやっていくと同時に、あと持っている大磯の豊かな資源を生かして、私たちも子供たちがこれからの社会を生きて行くのに、自分で考えられる、自分で決めて進められるという力を身に付けさせていきたいなというふうに考えます。



**自分で考えられる子どもを育てる**  
**大磯の良さ**を生かした個別最適な学び・・・  
すで実践されている  
ICTを活用した授業設計  
子どもに手立てを選ばせる授業の工夫を充実させる。

地域との連携、カリキュラムマネジメント、評価の見直し  
総合的な学習の時間、特別活動、生活単元学習  
常に“なんのためにこれをやるのか”を問う  
データを教育につかう、アセスメントを指導に生かす

私からの発表は以上なんですが、何かご質問とかあればお答えしたいと思います。如何でしょうか？

#### 質疑応答：

・質問：以前聞いたことあるんですけど、日本の教育っていうのは、学校の先生が生徒がわからないで、教えてっていうと、先生は答えを教えちゃう、というふうに言われた。じゃあ、アメリカはどういうふうにするの？、プロセスは教えるけど、答えは自分で見つけなさいようなことをやってるけども、今の日本の現状はどうなっているか？アメリカの現状はどうなってるのか？

・応答：アメリカの現状は、授業を拝見してきた限りではみんな自分で考えさせて自分で動くっていうのを、大事にしているように見えました。先生が簡単に答えを教えるとかっていう場面は見ませんでしたね。日本の場合なんですけれども、私の周りのことでしか言えないんですけれども、その子どもたちに考えさせて、その過程を大切にしようと言うのを、一生懸命意図している先生方たくさんいます。ただ、結果として、例えば人数がすごく多くて、目が行き届かないがゆえに答えを教えるというよりは、例えばそのスキルとかドリルとかをやる中で○×つける中で、できてないところはやりなおしてねってあんまり丁寧なやり取りにならないような場面も、あるのかなあとは思います。なので、その一人ずつに考えさせるって、時間がかかることなんですよね。私、個人的なことなんですけども、思うのはやっぱり学習指導要領で既にやる事が決まっているので、やらなければいけない内容のほうが先に決まっていて、その時間で待つっていうことがしにくい環境は、たしかに日本の中にあるんだなあっていうのは感じています。ただ、その学習指導要領が例えば動画で出てきました、アメリカの学校では九九は小学校の五年生の年齢でやってたんですね。日本だと小学校二年生でやっていますが、掛け算は取り組んでいましたけれども、暗誦する形での九九みたいなのは五年生だったんですね。それを見た時に、やっぱり待っただけの時間を取るために、カリキュラムそのものも視野に入れて考えないと難しいのかなっていうのは思っているところです。

・質問：親や先生が先回りしちゃだめよと言う事ですね。

・そうです、すごく大切なことだと思います。

・質問：いじめ問題で対応の仕方のシステムが出来ている。実際にじめるっていうのは、日本に比べて多かったですか？



・**応答/質問**：多分、地域柄によるんだと思うんですね。＝先生は一切それに関わらないで良い？＝転移の段階と、見せてもらったのが、その発見した時の報告シートみたいなを見せてもらったんですけど、それは結構細かく、先ほどあったように一覧みたいな項目が書いてあって、そのことについてもうこのカテゴリーのことだっというのをチェックして、それをさっきのディーンと言われてる指導対応する先生の方に渡して、そこから先生は関わらないんですね。本当に全然違いますね、その辺が。＝あと映像を見て、先生が少ない＝そうですね。それもやっぱりクラスによる感じでしたが、ただ先生たちがあの教えることだけをやっているの、先生たち自身に余力があるっていう感じがすごくしたのと、あと言ってなかったですけども、何もしてない、何も担当してないフリーでぐるぐる回ってる先生もいて、なんか必要があれば、その先生がひょこっと入って来てとか、あと特別支援の先生いらっしやいましたけど、だいたい入り込みで指導してるので、その先生も支援が必要だとなっているお子さんのところには先生が多く入ったりします。＝じゃ子供に対応するのは変わらないですね？＝はい、あとそのチームで動くっていうところでは、日本の先生たちの力はすごいなとよく思います。やっぱりその教えるに特化している、また自分の担当をしっかりと教えるっていうのはあるんですけども、そのチームでつながるっていうのは日本の先生たちの方が前提として持っていて、それで動いているので、そこはすごくいいところだと思いますね。

職員室って何するところなのってすごく訊かれました。朝、会ったら、こんな風に話をして、たまには研修とかもやります、みたいな説明したらすごい驚いてましたね。

＝国語、算数、理科、社会で一番大事なのは何かと言ったら国語と言われましたね。アメリカでもやっぱり英語を教えているんですか？＝そうです。＝漢字があって、ひらがなカタカナがってというわけじゃないですからね＝そうですね。国語は2種類あって、**ライティングの授業と読む授業とが別**になっていました。ライティングの授業とリーディングの授業が別々にあって、先生も別々でした。ある先生はやっぱりその読み書きのところについて、子供たちがご覧いただいたとうり、黒人のお子さん方ばかりなんですけれども、もう普通に高校に行ってるだけだったら、読むとか書くとかできないまま小学校卒業しちゃうぐらいの教育環境にさらされてるお子さんたちなんですけど、フレンドシップの学校に来

ることで。読む書くという最低限のことを絶対に身につけて卒業させたい。何故かという、将来それがそのその子の人生の選択肢が全然変わってきてしまうからということを書いて、切実なんだなということを書きました。＝英語の教科書を日本に持って帰って、参考になるんじゃないか？＝とても参考になりましたね。私、英語ですけれども、あの映像にも出てきた、手を叩いて読んでたところがあったと思うんですけど、単語をああいうやり方は日本だとあんまりやらなくて、ただ文を読むだけなんですけど、単語一つ一つを手を叩きながら読むって言うのは、英語ってリズムなので、そういうのをやっていると、楽しく面白くできるのかな？、なんて思いつながら勉強しましたね。ありがとうございます。じゃ、これで報告終わりにさせていただきます。(拍手)

**質問**：何か事件はありましたか？

事件はですね、なにぶん、海外に出るのが20年弱ぶりでしたので、アメリカの入国が電子申請に変わってたんですよ。入国の審査をあらかじめ登録しておかなければいけない事を知らなくて。昔は飛行機の中で紙もらって書いたなって思っていて、それを書いて入国すればいいんだって思いこんでいたので、ギリギリまで気付かなくてですね、ESTAが取れてないと入国できないんですね。びっくりしました。それでも気づいたのが2日前ぐらいだったので、出発が間に合わなかったら本当に申し訳ないことになると思いながら、万が一フライトをキャンセルして違う便で行くことになった時に、どういう行き方があるだろうと調べたら、まさかのフランス経由で、パリ経由でアメリカに行くのが最安値で、一番早く出てきて、検索でアメリカ行くのにパリ経由したくないなと思って、祈るような思いだったんですけど、大丈夫でした。

ありがとうございます。(拍手)

**点鐘**：瀬戸亨一会長

卓話ありがとうございます。間違って非常ベルを押しちゃうと退学になっちゃう。でも別の学校に行くこともできるってことですよ。＝そうです＝安心してボタンを押しても、ほかの学校に。あと、日本は目標を決めるところまでは得意なんですけど、そこから実現していく力があまりないと思います。ぜひ勉強されてきたことを実現の方に向けて頑張ってもらいたいです。これからも子供たちのことどうぞよろしく願いいたします。それでは点鐘します。